

ふくしま

再生 短信

2021/2/21 相馬・玉野の椎茸農家工藤義行さん訪問

椎茸農家「妖精の郷」訪問



2

二〇二一年二月二一日午後、再生の会の小原壮二さん・飯館村の菅野永徳さんらに同行して相馬市玉野のシイタケ農家（株）「妖精の郷」創業者・工藤義行さんを訪問。早速原木椎茸の栽培現場（写真1）とハウスの菌床（写真2）を案内していただいた。工藤さんは二〇〇二年、農水省を退職して妻の菊子さん共々キノコの原木栽培の適地・阿武隈山系の相馬市玉野に腰をすえて事業開



1

日の東電福島第一原発事故による放射能汚染がキノコ栽培のホダ木と原木

真骨頂を發揮。始め他県の原木を導入していたが直ぐにここ阿武隈山系の

始。震災前には原木椎茸を主力に年商千五百万円にまで達していた。しかし、二〇一一年三月一

の森林を襲い、キノコの出荷と原木入手も不可能に。だがここから妖精の世界に生きる工藤さんは

原木再生に着手、既に三千本のクヌギ・スギを植林。里山再生百年二百年を生きる人には生き物への真の愛の姿がありました（写真3の右の方）。

土産に頂いた干し椎茸を戻していただく（写真4）。咄嗟に思いついたシイタケスライスの刺し身。まさしく絶品。四月には妖精こと工藤さん、再生の会に入会の吉報。これぞ誠にめでたきこと。

（文責＆撮影：若林一平）



4



3